

インパクト・エコノミーの

# 地殻変動

## 開催報告書

未来への扉が開く3日間

社会的インパクトに関する年次カンファレンス

**Social Impact Day 2025**

**5.14 WED → 5.16 FRI**

主催：一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ (SIMI)

共催：一般財団法人社会変革推進財団 (SIIF)

# 目次

- 開催概要 ...p. 3 ~ 5
- 数字で見るSID2025 ...p. 6 ~ 9
- 参加者の声 ...p. 1 0
- 協賛・後援・協力等 ...p. 1 1 ~ 1 2
- SID2025を終えて ...p. 1 3
- 主催／共催団体の紹介 ...p. 1 4

▼ Social Impact Day 2025 特設サイト :

<https://social-impact-day-2025.simi.or.jp/>

▼ Social Impact Day 2025 セッションレポート:

<https://simi.or.jp/info/11202>

# カンファレンス・テーマ

---

## 『インパクト・エコノミーの地殻変動』

インパクト・エコノミーは今、拡大しながらも変革の時を迎えています。気候変動や社会課題が多様化・複雑化するなか、インパクト投資の拡大、企業のパーパス経営の進展、政策・規制の変化など、インパクトを生み出す経済の枠組みそのものが進化しています。かつては一部の先進的な取り組みにとどまっていたインパクト・エコノミーは、今や市場全体を揺るがす変革の力となりつつあります。一方、取り組みが蓄積される中で、新たな問いや疑問も生まれています。

Social Impact Day 2025 では、この地殻変動を捉え、インパクト・エコノミーが次のフェーズへ進むための道筋を探ります。企業の戦略、投資の在り方、評価手法、マルチステークホルダーの連携—あらゆる要素が変革を迫られる今、どのようなビジョンを描き、どのようなアクションを起こすべきなのか。

企業、スタートアップ、非営利組織、投資家、行政、研究機関など、多様なアクターが集い、インパクト・エコノミーの未来を共に考える場がSocial Impact Day 2025です。今こそ、私たち一人ひとりが変革の担い手として、新たな時代への挑戦を始めましょう。

# 基調講演

## 「ベータ・アクティビズム」への招待 ～資本主義の土台を動かす

『Moving Beyond Modern Portfolio Theory: Investing That Matters  
(「良い投資」とβアクティビズム：MPT＝現代ポートフォリオ理論を超えて)』  
の共著者である Jon Lukomnik氏と James P. Hawley氏が登壇



**Jon Lukomnik 氏**

Adjunct Professor of International and Public Affairs and The Brandmeyer  
Fellow for Impact and Sustainable Investing, Columbia University



**James P. Hawley 氏**

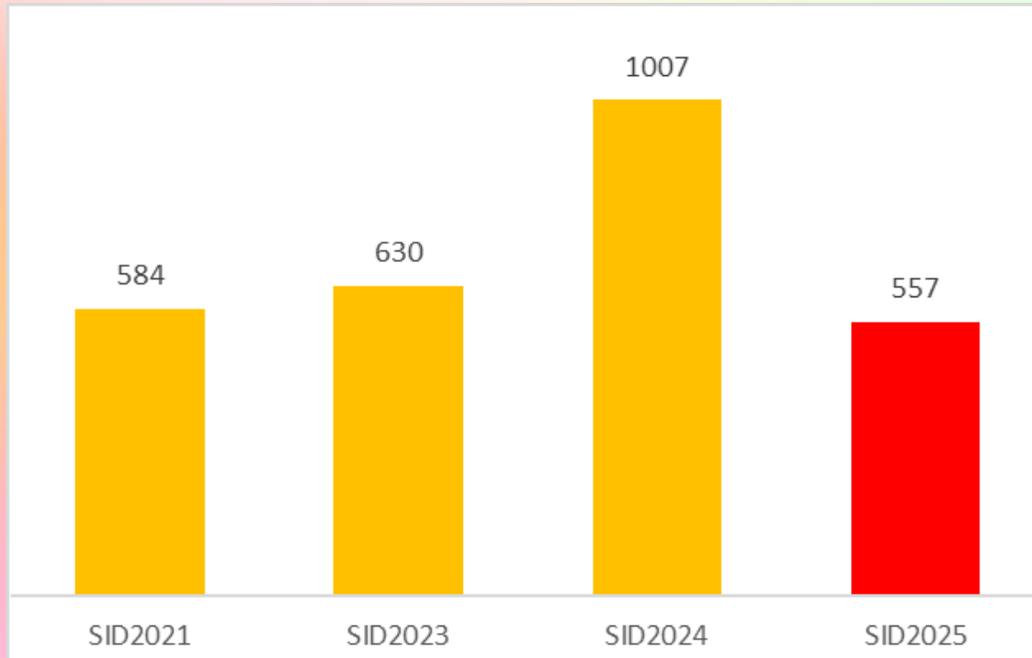
Professor Emeritus, School of Economics and  
Business, Saint Mary College of California

# タイムテーブル

| Day1: 2024年5月14日 (水) |  | Day2: 2024年5月15日 (木) |   | Day3: 2024年5月16日 (金)  |   |
|----------------------|--|----------------------|---|-----------------------|---|
| 09:40-10:00<br>(20分) | オープニング・トーク<br>～Welcome to Social Impact Day 2025!!                     | 09:30-10:40<br>(70分) | スペシャルセッション①【同時通訳】<br>新たなサステナビリティ開示基準TISFDとは?～基礎を学び、<br>基準制定に向けた参画を考える   | 09:30-10:20<br>(50分)  | セッション⑦<br>IMMの基礎と実践～インパクトスタートアップとローカルゼブラ<br>の事例から学ぶ社会的インパクト・マネジメント～ |
| 10:00-11:00<br>(60分) | 基調講演【同時通訳】<br>「ベータ・アクティビズム」への招待～資本主義の土台を動かす                            | 10:50-11:20<br>(30分) | 特別協力セッション①<br>ファイヤーサイド・チャット：波及するインパクト～カタリテ<br>ィック・フィランソロピーの潜在力～         | 10:30-11:20<br>(50分)  | 協賛セッション④<br>ショートピッチセッション：インパクト創出への取り組み                              |
| 11:10-12:00<br>(50分) | セッション①<br>地域主導のインパクト・エコノミーへの挑戦～Place based<br>impact investingの可能性と課題～ | 11:30-12:00<br>(30分) | 特別協力セッション②<br>(仮称) 虎ノ門イノベーションセンターが目指す和をなす社会<br>とは～パイロットプロジェクトの紹介～       | 11:30-12:20<br>(50分)  | セッション⑧<br>「共助資本主義」経営による持続的な企業価値の向上                                  |
| ～ランチタイム～             |  | ～ランチタイム～             |   |                       |   |
| 12:10-12:50<br>(40分) | ランチタイムトーク①<br>流動化する時代をつなぐ「インパクト」の可能性<br>～Z世代の4人がIMPACT SHIFTで感じたもの     | 12:10-12:30<br>(20分) | ランチタイムトーク②<br>Social Impact Day - Tech for Good Session                 |                       |   |
| 13:00-13:50<br>(50分) | セッション②<br>『インパクト投資は世界をよくしているか』論争を超えて～そ<br>れぞれの山の登り方を理解する～              | 13:00-13:50<br>(50分) | セッション④<br>官民連携によるインパクト・エコノミーの共創の可能性                                     |                       |   |
| 14:00-15:00<br>(60分) | 協賛セッション①<br>自然資本・生物多様性をインパクトで読み解く                                      | 14:00-15:00<br>(60分) | セッション⑤【同時通訳】<br>システムチェンジを「捉える」には  |                       |   |
| 15:10-16:10<br>(60分) | セッション③<br>信頼を礎に学習と変革を促進する～トラスト・ベースド・フィ<br>ランソロピーの可能性                   | 15:10-16:10<br>(60分) | セッション⑥【同時通訳】<br>欧州Impact Valuation Hubの実践に学ぶインパクトマネジメン<br>トのインパクト投資への実装 |                       |   |
| 16:20-17:20<br>(60分) | 協賛セッション②<br>インパクト“K”プロジェクト座談会 2025～共創と協働によるイ<br>ンパクト・エコノミーの拡大へ向けて～     | 16:20-17:50<br>(90分) | スペシャルセッション②/協賛セッション③【同時通訳】<br>企業の真価と「インパクト会計」                           | 18:00-20:00<br>(120分) | 対面交流会   |

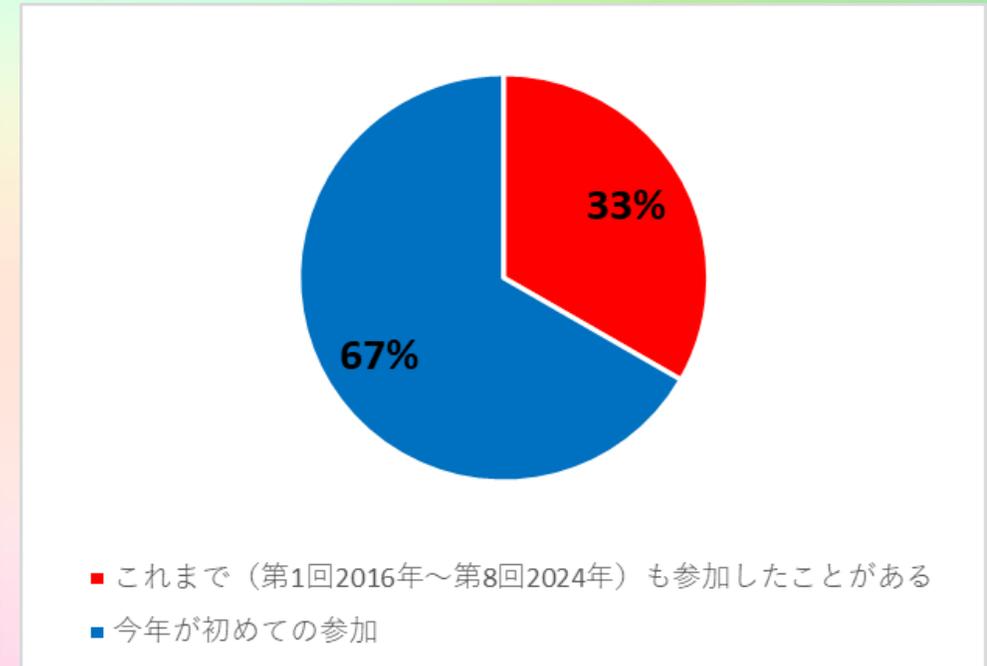
# 数字で見るSID2025

## 申込者数



※SID2025は有料チケットのみ（～SID2024までは無料チケットあり）  
※SID2024はハイブリッド開催。

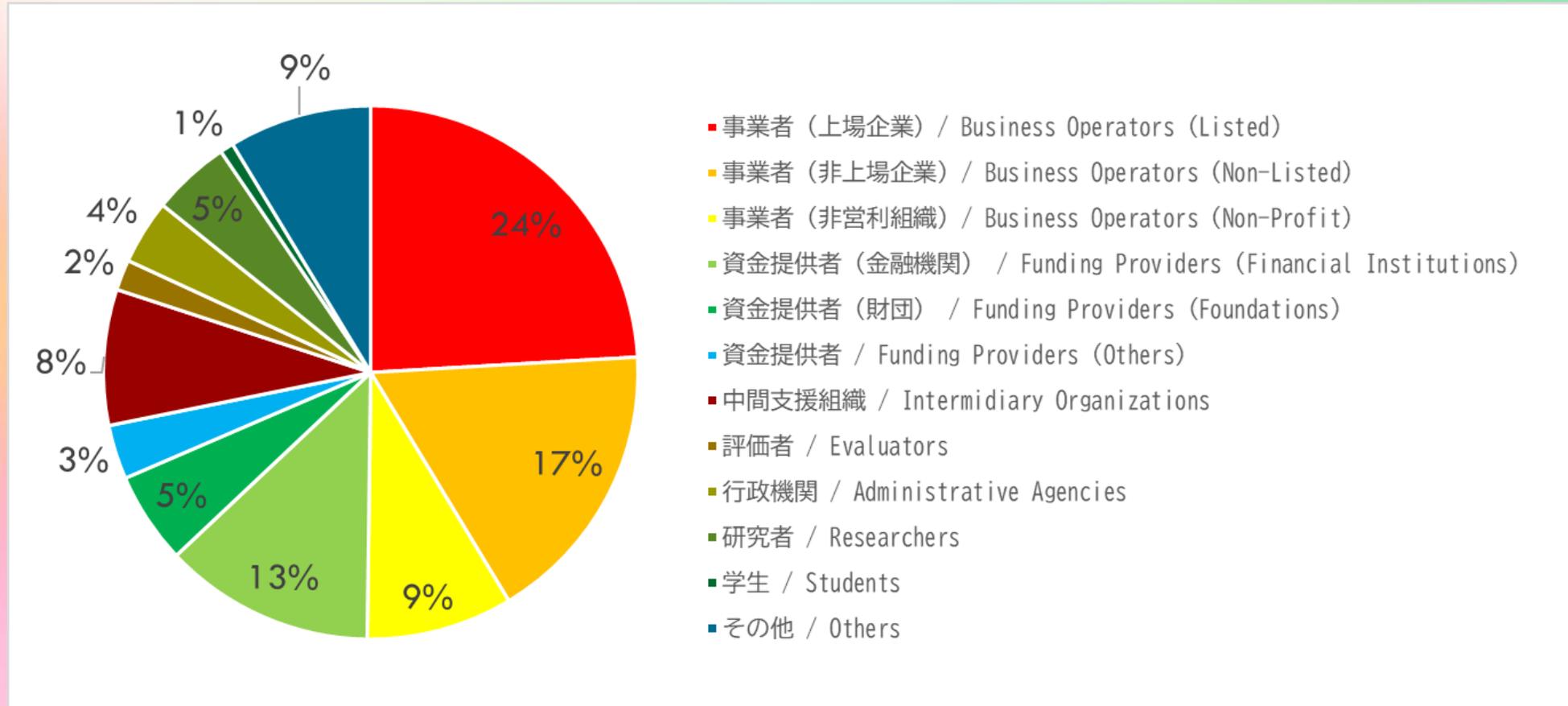
## リピート率



※イベント後のアンケート結果より  
（回答数=27）

# 数字で見るSID2025

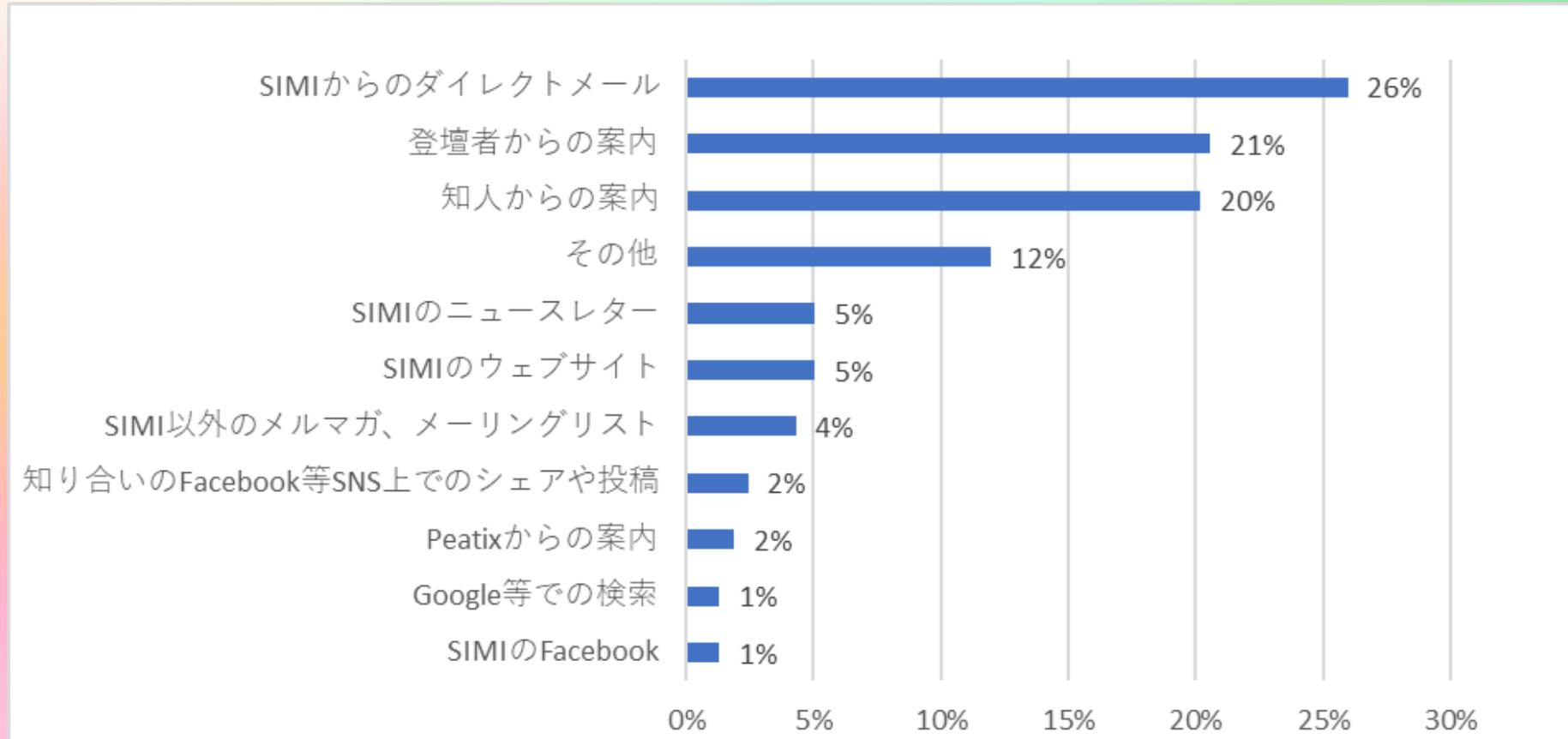
## 申込者属性



※Peatix申込時の取得データより  
(回答数=486)

# 数字で見るSID2025

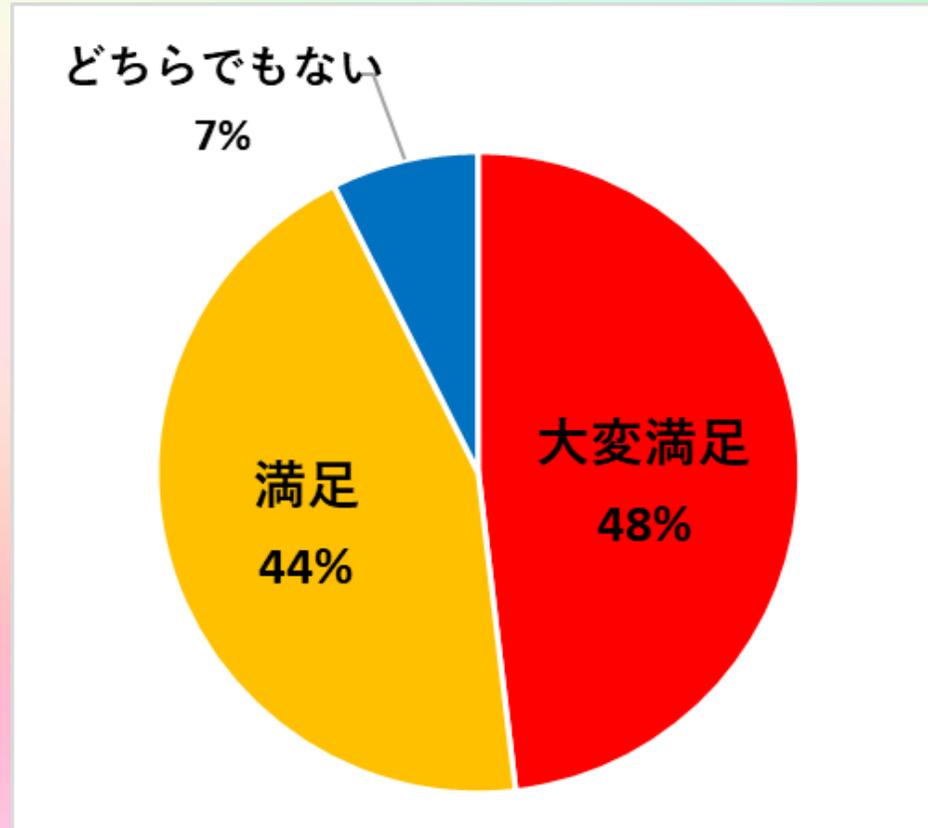
## 認知経路



※Peatix申込時の取得データより  
(回答数=486)

# 数字で見るSID2025

## 運営満足度



※イベント後のアンケート結果より  
(回答数=27、5段階スケール)

# 参加者の声

※イベント後のアンケートより

- **学びや気づき**
  - 実践している企業の成功事例や課題感を共有いただけると大変参考になります。
  - 日本企業の本来の価値をきちんと示すことができる未来が近づいていると感じます。公の指標として確立される日が来ることを願います。
  - 社会的インパクトについて、最新の動向を知ることができ、参考になりました。
- **運営全般**
  - 素晴らしい学びの場をいつもありがとうございます！
  - それぞれのセッションが、基本的に1時間以内でコンパクトにまとまっていたのがとてもよかったです。
  - 最初の高木さんのお話で、SIDは毎年やることになっているわけではないということでしたが、ぜひ来年も開催していただけると、大変ありがたいですし、日本のソーシャルインパクトの底上げにつながると思います。
  - 今年はあまり視聴できなくて残念でしたが、Social Impact Dayを今後も継続してほしいです。
- **次回取り上げてほしい事例**
  - インパクトマネジメント
  - 企業の社会価値創出に向けたソーシャルインパクトとステイクホルダーコミュニケーション
  - インパクトコレクティブ（他社との共創）
  - システム思考とIMMの関係
  - 今回は限られた時間内での取り組みの紹介という形が多かったと思いますが、様々な取り組みにフォーカスし、深く知れるようなイベントがあったらいいなと思いました。

# 協賛

SID2025は、以下の組織・機関に御協賛いただき実現しました。感謝申し上げます。

## 【協賛】

プラチナ

ともに挑む。ともに実る。



ゴールド



シルバー



ブロンズ



# 後援・特別協力・セッション共催

SID2025は、以下の組織・機関に御後援・ご協力いただき実現しました。感謝申し上げます。

## 【後援】



## 【特別協力】



## 【セッション共催】



インパクト志向金融宣言  
Japan Impact-driven Financing Initiative

**SOCIAL VALUE**  
JAPAN

◆インパクトコンソーシアム

◆一般社団法人トラスト・ベースド・フィランソロピー・ジャパン

# SID2025を終えて

SIMI理事 高木麻美

2025年5月14日から16日にかけて開催されたSocial Impact Day 2025は、全17セッションに国内外から多彩な登壇者を迎え、約550名の皆様にご参加いただき、盛況のうちに幕を閉じました。ご参加いただいた皆様、そして協賛・後援・協力をはじめ、企画・運営に携わってくださったすべての皆様に、心より感謝申し上げます。

今年のSocial Impact Dayのテーマは「インパクト・エコノミーの地殻変動」でした。制度や市場のルールが根本から揺らぎ、社会課題の解決と経済活動との関係性が再定義されつつある今、私たちはどこへ向かうのか。こうした問いに対して、さまざまな立場からの視点を交え、実践者たちの言葉とともに未来を見つめる場となりました。

基調講演では、『Moving Beyond Modern Portfolio Theory: Investing That Matters（「良い投資」とβアクティビズム：MPT＝現代ポートフォリオ理論を超えて）』の共著者であるJon Lukomnik氏とJames P. Hawley氏が登壇。長年にわたり金融資本主義の中核を担ってきたMPT（現代ポートフォリオ理論）について、現代の複雑なシステムリスクには対応できていないと指摘し、「投資家一人ひとりの積極的関与＝ベータ・アクティビズム」こそが、資本主義をアップデートし、サステナビリティ課題に立ち向かう鍵であると提起しました。

こうした本質的な問題提起に続く各セッションでは、地域主導や官民連携、信頼に基づくフィランソロピー、自然資本・生物多様性、インパクト投資を通じた共創と成功事例の創出、インパクト会計、アジアや欧州の取組、新たな制度や枠組み等々のテーマで多様な実践者が登壇し、それぞれの分野における取組や課題が共有されました。

とりわけ今回は、市場全体を揺るがす変革の力となりつつあるインパクト・エコノミーの進展と、取組の深化に伴い顕在化する課題をいかに乗り越えるかという視点から、「マルチステークホルダー」の連携に焦点が当てられました。金融機関、行政、企業、市民社会など多様な主体が参画し、立場や組織の枠を超えて対話と協働が生まれる様子からは、こうした共創の広がりこそが「地殻変動」を乗り越える原動力であることが強く感じられました。

インパクト・エコノミーが加速する今こそ、多様な立場が交わり、新たな解決策を共に生み出すときです。Social Impact Dayでの学びと対話が、それぞれの現場での一歩につながることを願っております。

# 主催・共催団体の紹介

## 【主催】

# SIMI

社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ

Social Impact Management Initiative

一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ（Social Impact Management Initiative: SIMI）は、日本において事業者、資金提供者・仲介者、行政、中間支援組織・シンクタンク、評価者・研究者など多様なメンバーが連携して、日本全体として「社会的インパクト・マネジメント」を普及させるためのマルチセクター・イニシアチブです。2025年5月現在、約140の個人・組織が参加しています。

<https://simi.or.jp/>

### <理事>

- 今田 克司 株式会社ブルー・マーブル・ジャパン代表取締役（代表理事）
- 伊藤 健 特定非営利活動法人ソーシャルバリュージャパン代表理事（業務執行理事）
- 鴨崎 貴泰 特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会常務理事（専務理事）
- 幸地 正樹 ケイスリー株式会社代表取締役（業務執行理事）
- 高木 麻美 株式会社Stem for Leaves代表取締役（業務執行理事）

## 【共催】

# SIIF

Social Innovation  
and Investment Foundation  
社会変革推進財団

経済的な価値が重要視された時代は終わり、社会、環境、文化など価値判断のモノサシが多様化している現代。企業、自治体、NPO団体、教育研究機関など共に、自助・公助・共助の枠組みを超えた社会的・経済的資源循環のエコシステムの実現のために、数々の計画立案と実行や支援を行なっています。<https://www.siif.or.jp/>

### <理事>

- 理事長 大野 修一
- 専務理事 青柳 光昌
- 常務理事 工藤 七子
- 常務理事 高石 良伸
- 理事 永田 俊一 三菱UFJ信託銀行信託博物館長、元預金保険機構理事長
- 理事 有馬 充美 元みずほ銀行執行役員、株式会社西武ホールディングス社外取締役
- 理事 中島 真 株式会社CAMPFIRE | 代表取締役 執行役員 CEO